

3学期の始まりは！



寅年と今年の目標！

今年は寅年。寅年の中でも壬寅(みずのえとら)の年なのだそうです。寅と聞くと“強そうだなあ”“怖そうだなあ”なんて想像する人も多いと思いますが、壬(みずのえ)には、寅のお母さんが子どもをとてても可愛がるように、大切に育て、優しくするという意味があるのだそうです。また、新しく立ち上がる、生まれたものが成長するという意味もあるのだそうです。みなさん、強く、優しく、成長する1年にしていましょ。寅年なので、いろんなことにトライしながら(*^o^*)

さて、トライするには、何のためにトライするのか、目標がないとトライのしようがないよね。そこで、有名人の“目標集め”をしてみました。

(中略) ○大谷翔平選手 ○羽生結弦選手 ○BTSの目標をクイズ形式で紹介

さあ、みなさんも、負けてはいられませんよ！いよいよ今日から3学期です。精一杯頑張っていましょ！「賢く」「優しく」「遅く」なれるよう、目標をもって。

子育てヒント集!こぼれ話!Vol.1

才能に溢れ、世界で活躍するスポーツ選手が日本からも輩出されています。その選手達が、幼い頃どのような子育てを受けていたのか、興味津々という方は、多いのではないのでしょうか?!

超一流選手の親たちが行った子育ての共通点は、頭ごなしに怒らないこと、そして、子どもの考えを否定しないことなんだそうです。“そんなこともできないのか”“お前はダメだ”と言われた瞬間、子どもは強烈なコンプレックスを植え付けられる。その二つを“しないこと”が、子どもの個性を大きく育てるのだという考え方です。

そう言えば、著名な教育心理学者・河合隼雄氏が『昔の親は、何をしてやろうかと考えた。けれど今の親の愛情は「何をしないか」を考えなければならぬ』という言葉を残されています。意味深ですが、考えてみる価値がある一言です。

遅ればせながら、伝えたくて!

昨年12月12日(日)、佐賀が生んだ維新の七賢人の一人、佐野常民(日本赤十字社の創設者)記念館において、博愛フェスタが行われました。

本校は、青少年赤十字に加盟しており、本年度は、日赤佐賀県支部の方に外部指導者として何度となくお世話になっていました。その御縁もあって、本校の取組を博愛フェスタに於いて発表する機会を頂きました。本校の代表として、5年生の中島梨々華さん、松尾美月さん、松永恵海さんの3人が“私たちが良ければ”と進んで練習・発表に臨んでくれました。大勢の中での発表でしたので、大変緊張したと思いますが、発表の仕方、内容ともに抜群で主催者の方からも沢山お褒めの言葉をもらいました。

その発表を聞きながら、改めて、本校の子どもたちの取組が、健康・安全、奉仕、国際親善の実践目標に「気づき」「考え」「実行する」という青少年赤十字の理念に叶うもので、素晴らしいものであることを再確認しました。このままで終わらせるのは、もったいない。全校の子どもたちにも共有し、自分達の実践への価値づけしていきたいと思い、2学期の終業式で再度発表会を行いました。



発表の内容には

- ☆全校手洗いタイム
- ☆夏季の草取りボランティア活動
- ☆ボランティア掃除
- ☆縦割り班活動
- ☆横断歩道でのお辞儀の励行 等々

自分達が普段に行っている実践に自信をもつことは、自己肯定感・自己有用感の育成に繋がります。延いては、人生を力強く生き抜くことに寄与するのではと考えます。今後も、伝統を引き継ぎ更にPower Upしていきたいと意を強くしています♥

